

長泉町・さわやかハイキング山行報告書

通算山行NO	NO. 80	報告者	大野貴美子
年月日	2010年5月2日(日)～4日(火)	2万5千	金北山、相川、 両津北部、両津
山名	佐渡・尻立山(934.2m)		
体力度=3・普通 技術度=3・普通 道標=ある 駐車場=ある トイレ=登山口にある 展望度=よい 三角点名=三ノ平 等級=三等			
<h2>とにかく凄い花の楽園</h2>			
コース とタイム	2日=裾野 2:00—富士IC 2:45/2:55—甲府南IC 4:00—諏訪SA 4:50/5:00—妙高SA 6:25—新井PA 6:45/6:55—上越JTC 7:04—上越IC 7:08—直江津港 7:25/9:30—小木港 12:10—アオネバ登山口 13:20 着—アオネバ登山口発 13:35～ユブ 14:32～アオネバ十字路 15:08/15:15～尻立山 16:13—ドンデン山荘 16:45/17:00—住吉温泉・寿月旅館 17:43 着(泊)		
標高差	上り 青粘登山口約300m～尻立山約932m=約632m 下り 尻立山約932m～ドンデン山荘約850m=約100m		
参加者	L後藤、加藤、大野、伊藤、伊藤陽、君山、大川、石和、原田、村上、村上美、峰田、鈴木恵、土屋、西原、増田、佐々木、鈴木新、河合、天野、大庭、杉山、山本、小松、小松京、幾見=全26名		

1日目(5月2日)

以前、山の会の仲間が「佐渡の花は種類が多くて凄い！」と言っていた事が脳裏にあり、ゴールデンウィークの時期になると、今年も叶わず・・・が続いていた。

それが「長泉町・さわやかハイク」に便乗させていただき事となり、願いが叶う事となった。声を掛けていただき感謝しています。

裾野を2時に出発したバスは、富士ICで私たち4名(加藤、幾見、鈴木新、大野=鈴木綾子さんは病気で急遽欠席)を乗せ一路目的地を目指します。新井PAで西原さんと合流し、全員26名が揃った。心配していた渋滞もなく、直江津港で余裕をもって待つこととなった。



直江津の海藻ラーメン



佐渡のフェリー

フェリー「こがね丸」に乗船するとエントランスは豪華ホテルのようである。2等乗客室は1号から4号室まであり船内を回ってみた。甲板に出ると、子ども連れの親子が騒いでいる。イルカの群れと遭遇しているのです。その群れとも離れたため、船内に戻ってみるとほとんどの人が寝ていました。

小木港に着くと、「佐渡わたったどー」の男性陣の声。両津市へ向けて国道350号線を進みます。今渡った海も、海上の国道350号なのです。車窓からみる田んぼには、水が入っており一枚が大きい。柿畑（おけさ柿で有名）、梨畑をみながら信号のない道路をノンストップで進む。

前方に大佐渡山脈が見え始めた。地図を見ながらこの辺りを走行中・・・と確認。県道65号に入り つき進む。加茂湖辺りになると、明日目指す金北山が近くに見え、車窓からはカメラでシャッターを押しまくる。両津市夷商店街はシャッターが閉まっているところが多かった。

県道からアオネバ登山口への分岐を左折すると、山肌は新緑と満開の桜と、道路脇はフキノトウ、ニリンソウで綺麗である。満開の桜は、信州中野辺りから私たちをずっと楽しませ続けている。



青粘登山口



アオネバ（青粘）溪谷入口へ13:20 やっとやっと着きました。いよいよスタートです。天気に恵まれ最高です。歩き始めると沢沿いにイチリンソウの群落が始まり、キケマンがたくさん咲いていてびっくりです。シラネアオイ、カタクリ、ミスミソウ、キクザキイチゲ・・・と春の妖精といわれる花々が次々と咲いており想像以上の花ですばらしいではありませんか。

カタクリは本土とは違って、葉に斑点がなく綺麗な緑色でびっくり感激です。ただ、虫（ブヨ）が多いのには参り、トレッキングマップをうちわ代わりに虫を払うように歩きました。ミスミソウの群落ではあちこちで歓声です。沢は左手側から右手側に変わり、あれがアオネバだよの声に、青色をした石をデジカメで撮っていたら、後藤さんがこっちの「青い粘土だよ」と教えてくれました。ここで初めて「変わった名前だな」と思っていた事が理解できた。

青灰色のグチャグチャした粘土を時間があればこねてみたい気もしました。標高700m付近から雪が出てくる。南面とは言え、さすがは佐渡の山だ。十字路に着くと



三角草



菊咲一華

更に雪が多くなり、この先の車道はほとんど雪でおおわれていた。稜線に出ると広大な草原となっており、草原は所々に乾燥した牛の糞が落ちていた。6月頃から10月頃まで自然放牧されるようです。とにかく強風には参りました。この強風の中、後方を振り返ると、あす目指す佐渡最高峰の金北山がドンと構えています。

尻立山前でOさんの足が痙攣してしまいました。時間も遅いので男性が騎馬を組んで運ぶ。それでも駄目だったので最後はLが背負ってバスまで下る。

ここでバスの待つドンデン山荘Pへは16時45分着です。ここから眺める両津湾、加茂湖、一面の田んぼが光っていて綺麗でした。朝早くから、今日1日大変お疲れ様でした。明日が楽しみです。

その他の報告（後藤）

1. 佐渡渡島には、直江津港～小木港と新潟港～両津港がある。両者共渡島には2時間半掛る。山は両津港が近いが、新潟まで陸路が掛るので総合的にはほぼ同じ。
2. フェリーは出港40分前から積み込み開始。

3. フェリーは揺れが少なく快適だった。しかし、冬はしばしば欠航になるという。
4. 尻立山は地図によっては、尻高山になっている。ちなみに2万5千図に山名はない。
5. 住吉温泉・寿月旅館の温泉は柔らかいアルカリ系で凄く良かった。料理はまあまあ。主人は別の場所に本来の家があり、農業が主業とのこと。最初は強面だったが、話すとイイ感じの方で高校を卒業して、実習で函南にイチゴのピッキング作業に来たと言っていた。帰りにはバスまで見送りに来てくれ、コーヒー缶の差し入れもあった。ただ、翌日の弁当は作ってくれなかったので、コンビニで調達した。
6. LとIさんは旅館到着後、翌日の金北山横山登山道の下見を行った。
7. 佐渡のお寺は日蓮宗が多い。日蓮は鎌倉時代佐渡に流された。



青粘登山道上部



尻立山



寿月旅館



両津付近から金北山